

- ② 市ホームページが新しく
- ③ コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市へ
- ④-⑤ **特集** 変わる 本厚木駅南口
- ⑥ ワクチン接種/街の話題
- ⑦-⑧ お知らせ



## 新たな総合計画がスタート 自分らしさを 輝くまちへ

厚木南公民館上空からドローンで撮影



4月1日  
配布

総合計画の詳細は冊子  
「事業と予算のあらまし」  
に掲載



生まれ変わった厚木の玄関口の奥に望む、豊かな自然やにぎわいあふれる街並み。そこに根差す、人と人との絆。私たちが暮らすまちには、先人が築いてきた、たくさんの魅力が息づいています。

4月、これから12年間のまちづくりの方向性を示した新たな総合計画が始動しました。描く将来都市像は「自分らしさ輝く 希望と幸せあふれる 元気なまち あつぎ」。古くからの厚木らしさを大切にしながら、誰もが安心して暮らせる、いつまでも活気に満ちたまちを目指します。

将来に向け、少子高齢化や環境保全、防災・防犯対策、新型コロナウイルスへの対応など、課題もあります。困難を乗り越え、これからも魅力あるまちで在り続けるために、力を合わせてより良い厚木をつくっていきましょう。

企画政策課 ☎25-2455

Zoom Up

より見やすく、使いやすく

# 市ホームページが新しく

市ホームページを11年ぶりに全面リニューアルしました。より使いやすくデザインを一新し、問い合わせに自動で回答する機能も追加。スマートフォンからも見やすくなりました。さらに市公式LINEの機能を拡充するなど、情報を得やすい環境づくりを進めています。

## デザインを一新し機能を追加

デジタル化が進み、情報を得る手段は多様化しています。2019年に実施した市の情報化推進アンケートでは、インターネットを利用する人の割合は81%と、07年に比べ20%上昇。災害時の速やかな情報発信のためにも、ホームページやSNSの重要性は高まっています。市のホームページは、前回の全面リニューアルから11年が経過。より使いやすく、利用者のニーズに合わせるため、4月1日に全面リニューアルしました。

新しいホームページでは、内容の分類とデザインを一新。写真を大きく配置し、視認性の高いページを目指しました。さらにキーワード検索機能の精度が上がったことで、欲しい情報にいち早くたどり着けます。合わせて、スマートフォン版も見やすさを重視し大幅に改変。いつでも、どこでも欲しい情報に快適にアクセスできます。

新しい機能として、質問を入力すると自動で回答が得られる「チャットボット」を導入（左上欄参照）。時間帯を気にせず気軽に質問でき、すぐに答えが返ってくるため、その場で疑問を解決できます。さらに、より専門的な情報が発信できるよう、災害情報に特化した防災専用サイトと、あつぎ郷土博物館の専用サイトを新設しました。特定の情報を集約したページを設けることで、より探しやすいになりました。

## 市公式LINEの機能を拡充

リニューアルに合わせて、SNSにも新たな機能を導入しました。昨年8月に開設したアプリ「LINE」の市公式アカウントでは、通知する情報を

分野ごとに選べる振り分け受信や、災害時に避難所の混雑状況が見られる機能、居住地のごみの日を通知する機能などを拡充しています（左欄参照）。今後も時代の変化に合わせて見直しながら、皆さんにとって必要な情報が得やすい環境の整備を進めていきます。

12年間のまちづくりの方針を定めた新たな総合計画がスタートしました。掲げた将来都市像は、「自分らしさ輝く 希望と幸せあふれる 元気なまち あつぎ」。計画の策定に当たり、今年度の予算を「あつぎの元気希望予算」と題し、一般会計872億円、特別会計と合わせ総額約1522億円の予算を編成しました。コロナ禍により依然として先の見通分野ごとに選べる振り分け受信や、災害時に避難所の混雑状況が見られる機能、居住地のごみの日を通知する機能などを拡充しています（左欄参照）。今後も時代の変化に合わせて見直しながら、皆さんにとって必要な情報が得やすい環境の整備を進めていきます。



市議会第1回会議で施政方針を表明

せない状況が続いていますが、この困難を乗り越え、新たな時代を切り開いていくという強い思いで事業を計画しました。引き続き、感染症対策をはじめとして、防災・減災対策や地域包括ケア社会の実現、子育て支援に加え、誰もが暮らしやすいコンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりなどの事業を進めてまいります。

感染症が予断を許さない状況の中、経済支援や早急なワクチン接種など、行政に寄せられる期待は非常に大きなものと感じております。市民の皆さまの命と生活を守り抜くという私の使命を果たすため、2021年度も全身全霊でまちづくりに取り組んでいきます。

## リニューアルのポイント

- ・スマートフォンでも見やすく
- ・新機能「チャットボット」で気軽に質問
- ・防災などの専用サイトを新設



パソコン版

スマートフォン版

## 検索機能が向上 内容の分類を一新

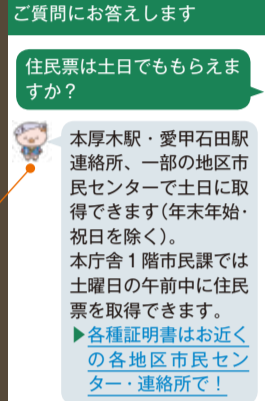
キーワード検索の精度が上がり、情報が探しやすくなりました。

よく探されている分野に整理し、目的の情報にいち早くたどり着けます。

## チャットボットが自動で質問に回答

質問に自動で回答するシステム「チャットボット」を、パソコン版とスマートフォン版両方に導入。回答がすぐに得られます。

## チャットボットのイメージ



## 防災などの専門サイトを新設



防災

郷土博物館

日ごろの備えや災害時の情報収集に役立つ防災サイトや、あつぎ郷土博物館、ふるさと納税、子育てなどの専用サイトを設けました。

## LINEの機能を拡充

市公式LINEでできることが増えました。



**チャットボット**  
質問に自動で回答

**振り分け**  
通知される分野を事前に選択可能

**避難所検索**  
災害時に避難所の位置情報や混雑状況を表示

**その他**  
イベント検索や居住地のごみの日を知らせる機能など

**【登録方法】** スマートフォンなどにLINEのアプリをダウンロードし、アカウント名「厚木市」またはID「@atsugi\_city」で検索し、友だち登録

市観光協会ホームページ「あつぎ観光ナビ」もリニューアル

市観光協会ホームページが新しくなりました。市内の見どころや旬なイベント情報、季節の花の開花状況などを掲載しています。SNSと併せてぜひご覧ください。

市観光協会 ☎240-1220

あつぎ観光ナビ

市観光協会 インスタグラム

グルメや名所などの観光情報が満載



住まいの近くで買い物を



バスの利便性を向上



安全に暮らせる

「コンパクト・プラス・ネットワーク」で目指すまちづくり



地域での移動手段を充実



「自分たちのまち」という意識で

都市計画審議会会長  
東海大学 梶田 佳孝教授 (50)

コンパクト・プラス・ネットワークを推進することは、地域の人口密度を高め、地域ごとの結び付きを強めるため、コミュニティーの維持や発展が期待できます。少子高齢化で人口が減少し、コミュニティーの希薄化が懸念される社会では、果たす役割は非常に大きいです。

ただ、行政だけの力では、目指すまちの姿には近づけません。大切なのは、市民の皆さんもまちづくりに一緒に取り組むことです。「このまち自分たちのまち」という意識を持って、積極的にまちづくりに参加してほしいです。

Zoom Up

# コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市へ より暮らしやすいまちに

誰もが快適に移動し、地域で暮らし続けられるよう、住まいと生活に必要な施設の距離短縮や、バスの利便性向上などを目指します。皆さんからの声を取り入れながら、一緒にまちづくりを進めていきます。

全国的に少子高齢化が進む中、人口とともに労働者や消費者が減り続けると、地域で生活に必要な施設の維持は難しくなります。市の意見交換会などでも、買い物や移動の不便さを訴える声が出ています。特に、生活基盤であるスーパーマーケットや診療所、公共交通機関などの確保は、行政と市民が一体となって考えなければいけない課題です。現状を踏まえ市では、より暮らしやすく持続可能なまちを目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画」を策定しました。

## 地域の特徴を生かしたまちづくり

市が目指すのは、住まいと生活に必要な施設の距離を近づけ、バスなどの公共交通の利便性を高めるまちづくりです。市では、事業者の出店などを後押しする「生活利便施設立地促進事業」や、危険なエリアからの移転を支援する「居住誘導区域（がけ地近接等危険住宅）移転事業」（下欄参照）を開始。より快適で安全なまちづくりを進めています。

都市計画審議会会長の梶田教授は

「厚木市は、大きな公園がある、主要道路にアクセスしやすいなど、地域ごとに特性がある。中心市街地に居住地を一極集中させるのではなく、バスで移動しやすい利点を生かし今あるものを充実させていくことが大切」と話します。

## 交通利便性をさらに向上

市内はバス路線が豊富で、多くの路線バスが運行する一方、いつも混雑している、住まいの近くに路線がないなどの声もあります。そこで市では、バスレーンの設置や、移動手段の充実に向けたコミュニティー交通の導入も検討。交通の利便性を高め、誰もが快適に移動できる仕組みを整えます。

## 市民協働で理想のまちへ

誰もが快適に暮らせるまちをつくるには、実情の把握と地域の協力が欠かせません。市では、今後もアンケートなどを継続的に実施し、皆さんからの声を取り入れながら、一緒にまちづくりを進めていきます。

☎都市計画課 ☎25-2400

### ①生活利便施設立地促進事業 県内初

スーパーマーケットや診療所などの施設が不足している地域に立地をする事業者に補助金を交付します。

《対象》補助対象区域内に、スーパーマーケットやドラッグストア、コンビニ、診療所を新規出店または開業などをする事業者《補助上限額》①スーパーマーケット=1億円②ドラッグストア=5千万円③コンビニ、診療所=2千万円 ※補助金額は施設整備費の2分の1と5年分の土地・建物賃借料の合計額または補助上限額のいずれか小さい額

### ②居住誘導区域（がけ地近接等危険住宅）移転事業 県内初

災害リスクの高いエリアから移転する方に、除却費や移転費などの一部を補助します。

《対象》市で定める危険区域に住み、既存の住宅を除去し、市内の安全なエリアへ移転する方《1戸当たりの補助上限額》①除却費=97万5千円②建物助成費（借入金利子への助成）=421万円③移転費=50万円（移転先が居住誘導区域の場合に限る）

☎①②いずれも事前相談が必要なため、電話またはEメールで都市計画課 ☎4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

### ③コミュニティー交通検討事業

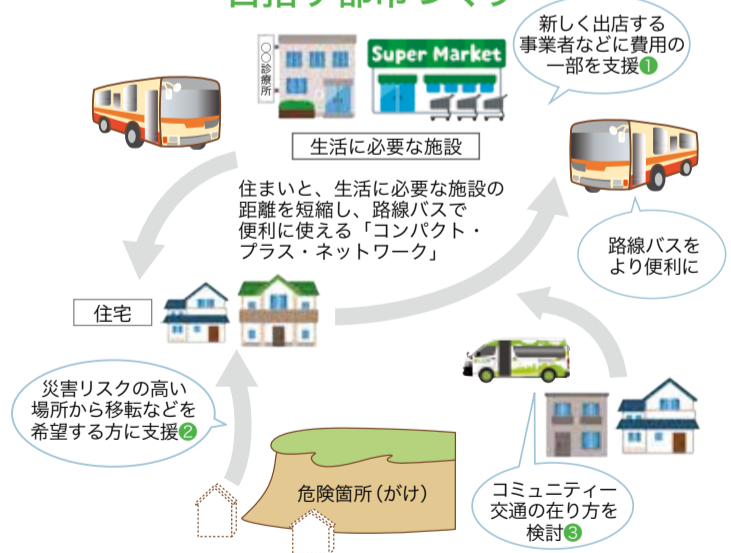
地域の移動手段を確保するため、必要性が高い地域でコミュニティー交通の導入が検討されています。

●コミュニティー交通の取り組み 買い物や通院などでの移動手段を充実させる取り組み。市内では「まつかげ台・みはる野」「鳶尾」の2カ所でコミュニティー交通「ココモ」の運行を始めています。

●地域が主体となって運行 コミュニティー交通は、地域の皆さんが主体となり運行する仕組みです。実情に合わせ地域に合った交通を市と協働で取り組みます。

☎都市計画課 ☎225-2400

## コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画で 目指す都市づくり



### 4月から開始 住宅などの建築・休廃止の届け出

計画の実現に向け、住宅開発や誘導施設などの動きを把握するため、次の場合に市への届け出が必要です。

- ・居住誘導区域外での一定規模の住宅の建築
  - ・都市機能誘導区域外での誘導施設の建築
  - ・都市機能誘導区域内での誘導施設の休廃止
- ※誘導区域や誘導施設一覧などは市HPに掲載



AMIの仲間と今後の活動について語り合う(左が本田さん)



「南口ホコまつり」に合わせて開いた催しには、数百人が参加

「最近はどう?」コロナの影響はしばらく続きそうだね。久しぶりに顔を合わせ、和気あいあいと情報交換するのは、「厚木みなみ飲食店部会(AMI)」の皆さん。感染症の流行前は、本厚木駅南口周辺を盛り上げる企画の打ち合わせや情報交換などで、月に2回程度集まっていた。南口周辺の新しい魅力を生み出し発信するため2015年に結成されたAMIは、当初、地域の商店会に加盟する飲食店10店

AMIは、訪れた人に食事をより楽しんでもらえるよう、ゲーム感覚でお店を回れるビンゴマップや、お店の特典がもらえるバスポートなどを企画し、お店同士で連携して地域を盛り上げてきました。「全員での会議は難しいが、SNSを使ってお店同士のつながりを持ち続けている」と話すのは、飲食店を経営する本田昌宏さん(42・旭町)。AMIの結成に携わり、広報や仲間集めに奔走した1人です。本田さんは「本来は同じ土地に店を構えて競い合う関係だが今では一緒に街を盛り上げる仲間」と笑顔を浮かべます。「個人経営の店が多く、そこでは味わえない料理や店の雰囲気、人との出会いやつながりがあるのが南口の魅力」と、

学生が取材したお店の紹介動画を公開



あつぎにぎわいアドベンチャー隊 リーダー 坂本 興平さん(松蔭大学3年)

市内の大学生で構成するあつぎにぎわいアドベンチャー隊が市内のお店を紹介する動画を作成しました。4月上旬から市HPで順次公開します。

商業にぎわい課 ☎225-2840

地域を盛り上げる

楽しみがある街に

本厚木駅南口には、個人経営のお店が多く集まっています。街並みが変わる中で、お店同士で連携して、地域を盛り上げる活動をする方は、どんなことを考えているのでしょうか。

求めているつながり

AMIは、訪れた人に食事をより楽しんでもらえるよう、ゲーム感覚でお店を回れるビンゴマップや、お店の特典がもらえるバスポートなどを企画し、お店同士で連携して地域を盛り上げてきました。

みんなが参加できるイベントを

AMIの発足から6年が経ち、飲食店以外からも、お店同士の連携を求める声が上がりました。本田さんは「南口の良さを発揮するには、業種を超えたつながりが大切。コロナが終息したら、新たなつながりをつくりたい」と意気込みます。

舗で活動を始めました。徐々に希望者が増え、今では30店舗ほどが参加しています。

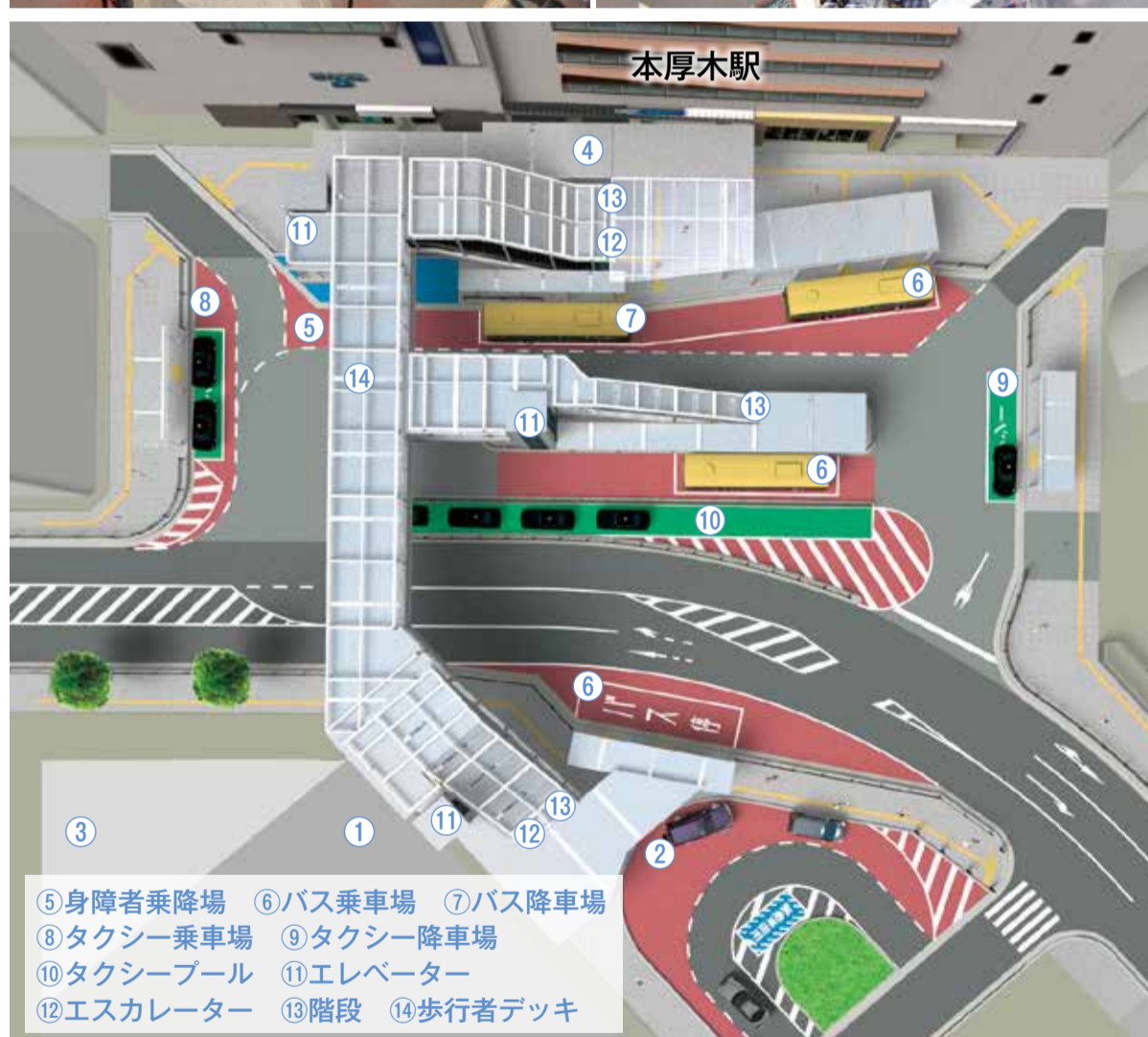
本田さんと飯沼祐太さん(写真中)、大谷貴之さん(同右)は口をそろえます。



本厚木駅南口 ▲1989年 ▼2015年



2018年から続いていた本厚木駅南口地区市街地再開発事業の工事が終わり、4月に供用を開始しました。駅周辺の道路整備や商業・業務施設のオープンで、交通の利便性や住環境が向上。今回の特集では、住みやすくなり、魅力が増した南口を紹介します。



- 5 身障者乗降場 6 バス乗降場 7 バス降車場 8 タクシー乗降場 9 タクシー降車場 10 タクシープール 11 エレベーター 12 エスカレーター 13 階段 14 歩行者デッキ

1再開発ビル 2一般車乗降場 市街地整備課 ☎225-2851

名称は本厚木ミハラス。地上22階建てで、1～3階は商業・業務フロア(営業開始は店舗によって異なる)。一般車乗降場を新しく6台分設置。交通の利便性の向上に加え、近隣道路の渋滞を緩和。

3自転車駐輪場 交通安全課 ☎225-2760

再開発ビル地下1階に612台収容できる市営の本厚木駅南口自転車駐輪場を整備。

5月1日からの利用者を募集 募集台数 500台 氏名、住所、生年月日を確認できる書類(学生は学生証)を持ち、4月5～18日の7～19時に本厚木駅南口自転車駐輪場へ。抽選。

4デジタルサイネージ 広報課 ☎225-2040

観光やイベント情報、市からのお知らせを発信する電子看板を6基設置。災害時などの緊急時には、避難所の開設情報や公共交通機関の運行状況なども表示。

公衆無線LAN Atsugi Free Wi-Fi 情報政策課 ☎225-2447

市民の皆さんをはじめ、国内外から観光や仕事などで訪れる方が、容易にインターネットに接続できる無料のWi-Fiを設置。

4月3日から共用開始 愛甲石田駅に一般車乗降場を増設

駅利用者の増加に伴い、一般車が安全に送迎できるよう一般車乗降場を2レーンを増設しました。

市街地整備課 ☎225-2851



まちの活性化を目指して

準備組合を立ち上げてから16年間を経て、無事に再開発事業が終わりました。これからは住む方が増え、商業施設が開店し、人が集まるにぎやかな街になると思います。将来的には、住人や地元の団体、周辺のお店などが連携し、地域が一体となって発展していくことを期待しています。工事は終わりましたが、これからもまちづくりは続いていきます。新しくなった南口をきっかけに、私たち皆で盛り上げていきましょう。

本厚木駅南口地区市街地再開発組合 柳田 光太郎 理事長 (62・厚木町)



# 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種

65歳以上の方の接種券は、4月下旬に発送予定です。最新の接種スケジュールなどをお知らせします。

☎新型コロナウイルスワクチン接種  
コールセンター ☎0570-054-666

◆**集団接種の場所** 《常設》保健福祉センター 《巡回》14公民館

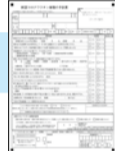
◆**接種スケジュール** ワクチンの供給状況で変更となる場合があります

広報あつぎ3月15日号に掲載した情報が更新されています。接種券の発送時期など、詳しくは4月15日号でお知らせします。

	3月	4月	5月	6月以降
医療従事者	接種			
高齢者施設入所者	接種			
高齢者(65歳以上)		接種券送付	予約	接種
一般の方				供給のめどが立ち次第、接種券を送付

接種の流れ

- ①接種券が届く
- ②接種の予約
- ③予診票の記入
- ④1回目の接種
- ⑤2回目の接種



3週間



## 地域での円滑な接種に向けて

睦合西公民館でワクチン接種のシミュレーション



シミュレーションの結果を他地区にも反映

「思っていたより肩に近い部分に打つのが分かった。肩を出しやすい服装をするよう、近所の人たちにも知らせたい」「スムーズに運営されている印象だった。予診票をしっかりと書いてくるなど、接種を受ける側の準備も大切だと感じた」などと話しました。

新型コロナウイルスワクチンの接種開始に向け3月に、睦合西公民館で巡回接種のシミュレーションを実施しました。厚木医師会や地域住民ら約80人が参加し、接種の流れを確認しました。シミュレーションが始まると、被接種者たちは接種券を受け付けに渡して、予診票の記載状況などを確認。医師の予診を経て接種を受け、経過観察するまでの流れを確認しました。

## 地域で暮らし続けられるために

市内2地区でコミュニティ交通の運行開始

乗車した江成ゆき江さん(81)は「移動が気軽にできるようになって本当に助かる。これからも週に1回ほど利用したい」と話しました。

市では、導入に当たり19・20年度に実証実験を行い地域のニーズなどを検証。住民らと協議を重ね、利用頻度が高い大型店舗や公民館などを巡るルートを設定しました。車両の愛称は「コンパクト」「コミュニティ」「モビリティ」の頭文字を取り「ココモ」としました。



月・金曜に鳶尾、火・木曜にまつかけ台・みはる野を運行

## 卒業制作のたこを大空に

玉川小学校でせんみ風揚げ大会

「せんみ風」の制作は、6年生が卒業に合わせて取り組む学校の恒例行事。セミを模した横6センチ、縦30センチほどのたこを、保存会の皆さんの協力を得て昨年10月から手作りしてきました。児童たちは、完成した色鮮やかなたこを手集合。校庭を駆け回り、たこ揚げを楽しみました。参加した中田心菜さん(12)は「しっかりと作れるか不安だったけれど、保存会の皆さんが作り方を優しく丁寧に教えてくれた。新型コロナウイルスの影響で大変な中、みんなで協力し合って今日を迎えられてうれしい」と笑顔を見せました。



青空を舞う色鮮やかなたこ

## 諦めない努力が夢をかなえる

永里源氣さんが鳶尾小学校で講演

はやぶさイレブン所属のサッカー選手・永里源氣さんが2月、母校の鳶尾小学校で講演しました。6年生55人に向けて、夢を持ち努力する大切さを語りました。

子どもたちは「私も諦めずに努力したい」「失敗を怖がらないで挑戦したい」などと目を輝かせていました。永里選手は「失敗を恐れずにどんなチャレンジしてほしい。今日の講演が、将来夢に向かうきっかけになったらうれしい」と語りました。



優しく児童に語り掛ける永里さん



# タウンガイド

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 ㊚=講座予約システム(㊚印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「㊚」)と記されたものは、申し込み可  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「春の訪れ」  
 #3月1日撮影  
 #小鮎川  
 #河津桜  
 #niceatsugi  
 広報課公式インスタグラムで公開中



### 新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)  
 感染の不安のある方、健康・医療のことなど  
 (発熱等診療予約センターは3月末で終了)  
 ☎(0570)056774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

### 「夕焼け市」がスタート

4月14日～10月27日の水曜、17時～1時間程度(9月以降は16時～)。荻野運動公園。市内産の農産物や加工食品などの販売。初日は、200円以上買い物をした方先着400人に特製あゆこちゃんエコバッグをプレゼント(1人1点)。☎農業政策課☎225-2801。

### 聖火リレートーチの展示

4月3・4日、9～20時。荻野運動公園。五輪・パラリンピック聖火リレートーチの展示。☎当日直接会場へ。☎企画政策課☎225-2451。



### 本入れバッグの配布

小学校に入学した児童に、市立小学校を通じて本入れバッグを配布しています。私立小学校の場合は、中央図書館で配付します。☎中央図書館☎223-0033。

### 危険物取扱者試験の受験準備講習会

5月8日、9時30分～17時。消防本部。試験に向けた講習(試験日は市HPに掲載)。☎消防本部や各消防署・分署にある案内を確認し、4月7日～5月7日に直接、予防課☎223-9369へ。

### 応急手当普通救命講習会

4月17日、9～12時。消防本部。

応急手当の必要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中・小学生以上15人。無料。☎4月1～8日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。☎2041019

### 文化芸術振興委員会委員を募集

文化芸術振興条例の運用状況の点検や文化芸術の振興に意見する委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方3人《任期》6月17日～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。☎文化生涯学習課や公民館、市HPにある申込書と小論文(400字程度)を、直接または郵送、ファクス、Eメールで4月22日(必着)までに〒243-8511文化生涯学習課☎225-2508・㊚225-3130・✉0350@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

### 観光振興推進委員を募集

《対象》①市内在住で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方2人《任期》6月～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。☎観光振興課や市HPにある申込書と応募動機(400字程度)を、直接または郵送、ファクス、Eメールで4月30日(必着)までに〒243-8511観

### 防災行政無線の内容を確実に

## 防災ラジオを有償配布



屋内でも防災行政無線の情報を聞けるラジオを有償配布します。

《対象》市内在住の方・事業所・団体

《費用》1台4000円 《配布予定日》8月以降

☎直接、電話またはファクス、Eメールに、〒住所、氏名、電話番号、購入台数、受け取り場所(危機管理課または希望する公民館)を書き、4月30日までに〒243-8511危機管理課☎223-0173・✉0900@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

☎危機管理課☎225-2190

- ①自動録音機能で最新の放送を繰り返し再生
- ②AM・FM利用可能緊急時は市の情報を優先
- ③市内どこでも受信可能

光復興課☎225-2820・㊚223-0174・

✉3850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

### 公共施設の指定管理者が決定

- ①市営自転車等駐車場(9施設)＝(株)オリエンタルコンサルタンツ。☎交通安全課☎225-2760。
- ②市営体育施設(東町・猿ヶ島・南毛スポーツセンター・及川球技場)＝スポーツ協会。☎スポーツ推進課☎225-2530。
- ③文化会館＝文化振興財団。☎文化生涯学習課☎225-2833《指定期間》4月～(①②3年間③2年間)。

### 高齢者サービス

#### シルバーチケット

《対象》市内在住の65歳以上《助成》宿泊施設＝1回1500円、入浴施設＝1回500円など。☎直接、地域包括ケア推進課(4月16日までは

介護福祉課)または公民館(平日8時30分～17時15分)、文化会館(休館日を除く平日9～17時)へ。

#### 高齢者タクシー券

《対象》市内在住の85歳以上《助成》4800円分。☎直接、地域包括ケア推進課(4月16日までは介護福祉課)へ。本人と代理人の印鑑が必要。

いずれも交付期間は4月1日～2022年3月31日。☎地域包括ケア推進課☎225-2224。

### フードバンクに協力を

食品ロスを減らすため家庭で余った食品を募集します。回収した食品は、必要な家庭に無償で提供します。

《日時》水曜、第3日曜。10～15時《会場》フードバンクあつぎ事務所(中町1-8-10)。☎当日直接会場へ。☎Heart34☎080-6602-2163(10～15時)。

## 市役所組織の改正

利用しやすい市役所を目指し、4月から組織の一部を改正します。  
 ☎行政総務課☎225-2280



### 新設

- ◆行政経営課 公共施設マネジメント係
- ◆情報政策課 デジタル化推進係(廃止：情報企画係)
- ◆地域包括ケア推進課 地域包括ケア推進係、地域支援係(廃止：福祉総務課地域包括ケア推進担当、介護福祉課高齢者ふれあい係)
- ◆市民課 マイナンバーカード・総合窓口整備担当
- ◆建築課 建築係(廃止：建築第一係、建築第二係)
- ◆教育施設課 維持管理係、計画整備係(廃止：学校施設課 学校施設係、教育情報係)

### 統合

- ◆産業振興課 産業振興・企業誘致係(統合：産業振興係、企業誘致係)
- ◆商業にぎわい課 商業にぎわい係(統合：商業振興係、商業にぎわい係)

### 名称変更

- ◆市民課 住民異動係(旧：市民係) 戸籍係(旧：記録係)
- ◆道路整備課 幹線道路係(旧：幹線道路・スマートインター整備係)

事務室移転、事務移管など詳しくは

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市 インターネットモニター

☎広報課☎225-2043

### 3月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆3月11日の震災を忘れてはならないし、今後の備えも必要/30代女性 ◆大規模な停電時の対策として電気自動車を活用してほしい/70代以上男性 ◆自治会は近所とのつながりや防災の面でも大切だと思う/30代女性 ◆市内でのワクチン接種の対応が良かった/40代女性 ◆自殺者の人数に驚いた。世代や理由なども知りたい/70代以上男性 ◆震災後、児童の声で始まり今も続く相川小の交流が素晴らしい/60代男性

### 編集後記

取材を進める中で、本厚木駅の南口には個人経営のお店が多くあり、お客さんとの心の距離が近いのが特徴と教わりました。食事以外にも、店員さんとの会話を楽めるのは、とても魅力的です。普段から人との関わりを大切にしているからこそ、お店同士がつながり、新しいチャレンジができるのだと感じました。再開発事業が終わるのをきっかけに、南口のお店や街並みを楽しんでみたいと思います/黒澤

友好都市  
北海道網走市  
×  
厚木市

前期 オホーツク写真水族館とクリオネ

# あばしりとあつぎの自然

オホーツク海の生き物の写真などを展示し、水族館にいるような空間を演出します。友好都市の雄大な自然を身近に感じてみませんか。  
☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

期間 4月29日～6月30日 9～17時

場所 あつぎ郷土博物館

内容 写真水族館とクリオネの生体展示など

講演会 5月15日「命の海、オホーツク」 ☎☎①2058006②2058007

6月12日「流水の海、オホーツク」 ☎☎①2058008②2058009

いずれも、①10時～②13時30分～(各回2時間)。定員各回50人。無料。  
☎直接、電話で4月1日～開催日の8日前にあつぎ郷土博物館へ。抽選。

来館者  
プレゼント  
先着順

4月29日=流水館(100組) 5月1日=缶バッジ(15組)  
5月2日・6月13日=サケ缶詰(各日30組)  
5月3・4・16日=クリアファイル(各日50組)  
抽選 5月5日=ニポネ人形(小学生以下8人)

詳しくはこちら▶



市長賞

【一般部門】応募数97点



新聞社賞

観光協会賞

## 入賞作品 広報写真コンクール

「あつぎは元気になれるまち」をテーマに皆さんから応募のあった399作品から入賞作品が決まりました。全ての入賞作品は、市HPやロードギャラリーで見られます。  
☎広報課 ☎225-2040

【一般部門】市長賞=高橋暁子/神奈川新聞社賞=池田正子/観光協会賞=土井文明/入選=砂川勝洋、遠藤昌彦、戸田直樹、町野正樹、坂久保亜希子、斎藤文夫/審査員奨励賞=津坂俊樹、中木原アケミ【Instagram部門】市長賞=加藤利明/最多いいね賞=吉村真弓 (敬称略・順不同)

【Instagram部門】応募数302点



最多いいね賞



市長賞

全入賞作・審査員講評▶

厚木市 広報写真

検索

## 自然歳時記

● ヤマガラ ●  
シジュウカラ科

全長14センチの茶色っぽい小鳥で雌雄同色。昆虫を主に、シイやエゴノキなどの実も好んで食べる。人にも慣れやすく、手の上の餌を食べることもある/飯山白山森林公園で見つけた。 写真・文/吉田文雄



桜の花が丸ごと一つ、ふわっと舞い落ちることがある。大抵の場合は、スズメが花をちぎって蜜を吸い落としているのだ。いつ見ても飽きない、春の光景である。

ある日、ふと枝に目をやると、花がふわりと静かにこぼれ落ちた。スズメのにぎやかな声は聞こえない。よく見ると、スズメよりも少し

小さなヤマガラがこちらを見ていた。まさかと思ひ眺めていると、足で花を押さえ蜜の辺りをつついていた。学習能力が高く、スズメの行動をまねたのかもしれない。

教員だった頃、子どもと一緒に巣箱を掛けたことがある。ヤマガラの巣は1種類のコケを使い、驚くほど清潔だったのを思い出した。

厚木市の人口  
(3月1日現在)

世帯数 10万1325世帯(前月比22世帯増)

人口 22万3678人(前月比93人減) 男11万5646人・女10万8032人